

Canon

RF-S

7.8mm F4 STM DUAL

使用説明書

JPN

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノン RF-S7.8mm F4 STM DUALは、RF-Sレンズ対応EOS Rシリーズカメラ用の3D映像制作用レンズです。

- レンズの性能を最大限に活用していただくため、次の条件での撮影をおすすめします。
 - ・ ライブビューの使用
 - ・ 三脚の使用
- 左右2つのレンズからの画像を取得できます。取得画像は対応したカメラアプリケーションで3D映像に変換することができます。
- STMはStepping Motor（ステッピングモーター）の略称です。

本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる可能性のある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

カメラのファームウェアとカメラアプリケーションについて

お使いのカメラのファームウェアと、対応したカメラアプリケーションは最新のバージョンにしてください。それらの最新バージョンの有無やアップデート方法については、キヤノンのホームページで確認してください。



このレンズは一部のEOS Rシリーズカメラ*に対応しています。カメラが対応していない場合、またはカメラのファームウェアが対応したバージョンでない場合、カメラの動作に不具合が生じることがあります。

* 対応カメラについては、キヤノンのホームページで確認してください。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や障害の発生を防ぐためにお守りください。

レンズを使用する際にお守りください。



警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- レンズを通して、太陽や強い光源を直接見ないでください。失明の原因となります。
- レンズキャップを取り付けていないレンズを、日光下に放置しないでください。レンズに入った太陽光が集まり、故障や火災の原因となります。



注意

傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。製品に触れるとやけどやけがの原因となります。
- 動きの激しい映像を撮影しないでください。視聴時に乗り物酔いのような症状が出る場合があります。
- 撮影時の揺れに注意してください。乗車中や歩行中などに撮影した3D映像は、疲労感、不快感の原因になる場合があります。そのため、三脚の使用をおすすめします。三脚で画面の水平出しを行ってから撮影してください。

安全上のご注意

3D映像を視聴する際にお守りください。

 **警告** 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 目や心臓に疾患のある方、血圧の高い方、妊娠中の方、脊椎障害歴のある方は、映像を視聴する前に医師に相談してください。症状悪化の原因となります。
- 強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す映像などを見ている際に、筋肉のけいれんや意識の喪失、発作などの症状を経験された方は、視聴する前に医師に相談してください。症状悪化の原因となります。
- 成長過程の方が映像を見続けると、健康に影響を与える恐れがあります。15歳以下の方に視聴させる場合は、使用者の様子を注意深く観察してください。異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止させ、医師に相談してください。また連続視聴時間は3分以内にしてください。



注意

傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 映像が明瞭に見えない方は視聴を控えてください。健康に影響を与える恐れがあります。
- 体調がすぐれないときは視聴を控えてください。気分が悪くなる恐れがあります。
- 乗り物酔いを起こしやすい方は、視聴の前に医師に相談してください。同様の症状を起こす恐れがあります。
- 連続視聴時間は30分を限度とし、適度に目と体を休めてください。長時間連続で視聴すると目や体に悪い影響を与える恐れがあります。
- 視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止してください。そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
- 左右いずれかのディスプレイをふさぐなどして、左右で大きく差のある映像を視聴しないでください。目や体に悪い影響を与える恐れがあります。

一般的なご注意

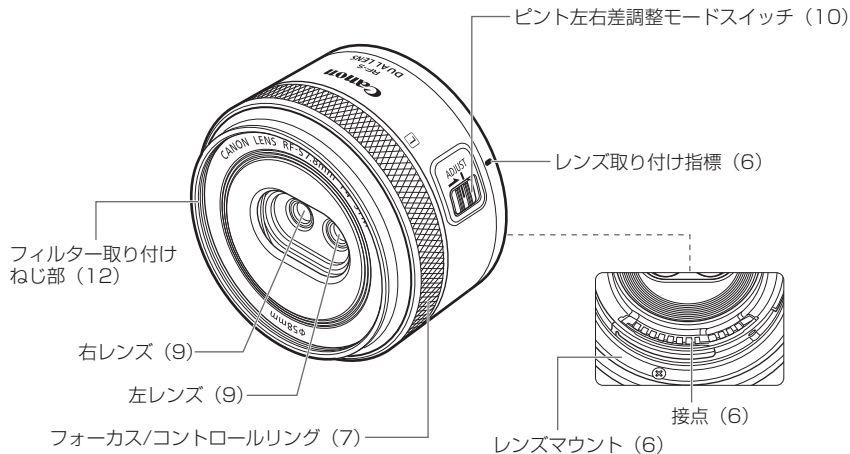
取り扱い上のご注意

- 日光下の車の中など、高温となる場所に製品を放置しないでください。故障の原因となります。
- レンズを寒い場所から暖かい場所に移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かい場所から寒い場所に移すときも、同様にしてください。
- カメラの使用説明書の取り扱いに関する記載もご覧ください。

撮影時のご注意

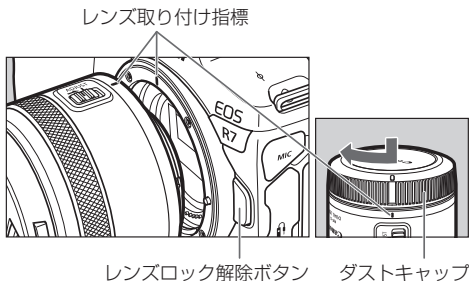
- オートパワーオフ状態から復帰したときは、ピント合わせを再度行ってください。
- 撮影準備状態でピント位置を保持するときは、カメラの設定で「オートパワーオフ」を「しない」に設定してください。
- このレンズは焦点距離が短く、レンズ表面のゴミやほこりが写り込みやすいため注意が必要です。レンズ表面やマウント側の開口部に付いたゴミやほこりは、市販のプロアーで吹き飛ばしてください。
- このレンズは左右2つのレンズを1つのセンサーで読み込む構成です。カメラによっては、左レンズの映像はモニターの右側、右レンズの映像はモニターの左側に表示される仕様になります。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

各部の名称



● (**) の**部は参照ページを示しています。

1. レンズの取り付け／取り外し



- レンズの取り付け/取り外しを行うときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてください。
- レンズを取り外す前に、レンズキャップを取り付けてください。
- レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、レンズマウント側を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。ダストキャップを取り付けるときは、レンズ側とダストキャップ側の取り付け指標を合わせて回してください。
- 接点に傷、汚れ、指紋などが付くと接触不良や腐食の原因になり、動作不良を起こすことがあります。汚れなどが付いたときは、柔らかい布で接点を清掃してください。

レンズの取り付け方

レンズ側とカメラ側のレンズ取り付け指標を合わせ、レンズを時計方向に「カチッ」と音がするまで回します。

レンズの取り外し方

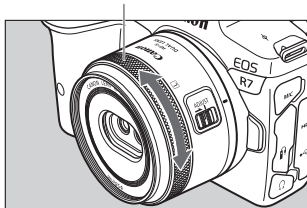
カメラのレンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回します。回転が止まるまで回してから取り外します。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

2. フォーカス / コントロールリング

フォーカス/コントロールリングは、フォーカスリング、もしくはコントロールリングとして使うことができます。

フォーカス/コントロールリング



フォーカスリングとコントロールリングの切り換えは、カメラ側で行います。
詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

フォーカスリングとして使う

フォーカスモード (AF/MF) はカメラ側で設定します。

オートフォーカス (AF) で撮影するときは、カメラのフォーカスモードを [AF] にします。

マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、カメラのフォーカスモードを [MF] にし、フォーカスリング (フォーカス/コントロールリング) を回してピントを合わせます。

コントロールリングとして使う

コントロールリングの機能はカメラ側のメニューで設定します。シャッター速度や絞り数値の設定など、カメラでよく使う機能を割り当てることができます。

コントロールリングの使い方について、詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

フォーカス / コントロールリング



- このレンズにフォーカスモードスイッチおよび、フォーカス/コントロール切り換えスイッチはありません。
- フォーカスリング（フォーカス/コントロールリング）を急回転させた場合、ピント合わせが遅れることがあります。
- 左右のピントにズレがあるときは調整を行ってください。詳しくは、3.ピント左右差の確認／調整方法をお読みください。
- このレンズではサーボAFは使えません。



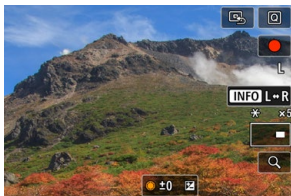
- このレンズのフォーカス/コントロールリングは電子式です。
- 電子式フルタイムマニュアルフォーカス対応のカメラでは、カメラ操作可能な状態で、マニュアルフォーカスができます。ただし、カメラの設定変更が必要です。
- カメラのAF動作がワンショットAFのとき、AFのあとシャッターボタン半押しの状態で、マニュアルフォーカスができます（電子式手動フォーカス機能）。ただし、カメラの設定変更が必要です。
- 動画撮影時は、静止画撮影時よりもAFが遅くなります。動画サーボAFを「[する]」に設定すると、カメラ側でAF速度の調整を行うことができます。

詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

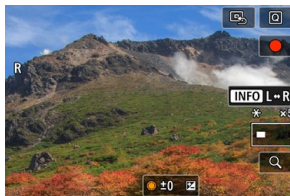
3. ピント左右差の確認／調整方法

ピント左右差の確認方法

レンズをカメラに初めて装着するときや、長時間の輸送後に使用するとき、次の手順でピント左右差を確認してください。



- 1 左レンズの拡大映像を表示させ、カメラのオートフォーカスを使用するか、フォーカスリング（フォーカス/コントロールリング）を回してピントを合わせます。



- 2 右レンズの拡大映像に切り換えます。

- 右レンズの拡大映像に切り換えた後、拡大映像のピントが合っていれば調整は不要です。ピントが合っていない時のみ、次のページを参照して調整を行ってください。



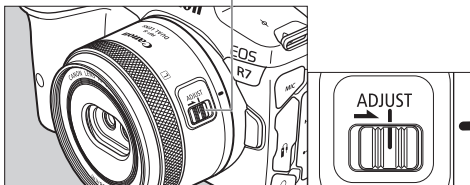
- 左レンズの拡大映像の表示方法、および左レンズの拡大映像から右レンズの拡大映像への切り換え方法については、VR画像撮影ガイドの「撮影／ピント合わせ」をご覧ください。

ピント左右差の確認／調整方法

ピント左右差の調整方法

右レンズの拡大映像を表示させたまま、次の手順で調整を行います。

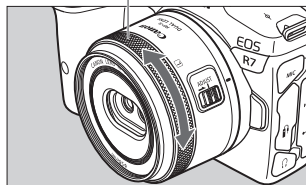
ピント左右差調整モードスイッチ



- 1** ピント左右差調整モードスイッチをADJUST側にスライドします。

- スイッチをスライドすると、右レンズのフォーカスレンズの位置のリセット動作が実行されます。右レンズの拡大映像でピントずれを再確認してください。

フォーカス/コントロールリング



- 2** フォーカス/コントロールリングを回して調整します。

- フォーカス/コントロールリングを回すと、右レンズのピントのみが変化します。
- 右レンズの拡大映像のピントが合えば調整は完了です。
- 調整後はピント左右差調整モードスイッチを元（ADJUST側とは反対に）戻してください。

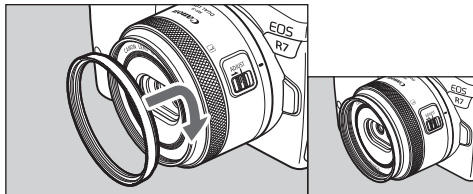
ピント左右差の確認／調整方法



- 左右のピント差を調整中に右レンズのピントが大きく外れて元に戻せなくなった場合は、ピント左右差調整モードスイッチをADJUST側にスライドさせた状態から6秒以内に3回往復スライドさせてください。右レンズの位置を初期の状態に戻すことができます。その後に、再度左右のピント差を確認／調整してください。
- ピント左右差調整モードスイッチがADJUST側になっているときは、AFは使用できません。加えて、静止画および動画を撮影することもできません。

4. フィルター（別売）

フィルター（Φ58）は、レンズ先端のフィルター取り付けねじ部に取り付けます。



- フィルターは1枚のみ使えます。
- 偏光フィルターはキャノン円偏光フィルター PL-C Bを使ってください。

5. 露出について

このレンズを取り付けた時でも、すべての撮影距離で、AE（自動露出）撮影ができます。

- AE（自動露出）の測光範囲は左レンズのイメージサークル内に限定されます。
- このレンズは、近くの被写体にストロボ撮影を行うとAE（自動露出）の露出値に大きな誤差が生じることがあります。その場合は、単体露出計のご使用や、撮影画像を確認しながら撮影してください。

主な仕様

焦点距離・明るさ	7.8mm F4
レンズ構成	7群9枚（片側光学系あたり）
開放絞り数値	F4
最小絞り数値	F16
画角	水平 63°、垂直 63°、対角 63°
最短撮影距離	0.15m
最大撮影倍率	0.07倍
基線長 (左右レンズの中心間隔)	約11.8mm
フィルター径	58mm
最大径×長さ	約69.2×41.5mm
質量	約131g
レンズキャップ	E-58 II*
レンズダストキャップ	レンズダストキャップRF*
ケース	LP1014（別売）

* レンズに同梱されていますが、単品でも購入できます。

主な仕様

- レンズの長さはレンズマウント面からレンズ先端までの寸法です。
付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+24.2mmになります。
- 最大径×長さ・質量は本体のみの値です。
- クローズアップレンズ250D/500Dは使用可能なサイズがありません。
- エクステンダーは使用できません。
- 記載のデータはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の機種への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、お手持ちの消耗品や付属品がご使用いただけなくなることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEOSホームページ

canon.jp/eos

キヤノンお客様相談センター

0570-08-0002

(つながらないときは 03-6634-4264)

受付時間〈平日/土〉9:00～17:00

(12月31日から1月3日は、休ませていただきます。)

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

